

大好き泉川

まちづくり新聞

環境・美化特集号

No.9 平成21年9月1日

発行 泉川まちづくり協議会

担当 環境・美化部会

地域のかに 感謝

環境・美化部会 部会長 藤田 勉

皆さんのご協力によって、泉川のまちが徐々にですが、しかし確実にきれいな環境に生まれ変わっています。様々な場所に花が咲き、ゴミを拾う活動が生まれています。まちが美しくなれば、きっとそこに住む人の心もゆとりができ、子ども達の中にも優しい心が根付いていくと信じています。

先日、まちづくり校区集会在実施されました。今回のテーマは「美しいまちづくり」ということで様々な視点から議論されましたが、特に泉中生から、自分達のまちに誇りを持つこと、地域の大人が黙々と活動してくれることへの感謝の気持ち、そして自分達も地域の一人として活動しようという強い意思が語られたことは、将来に向けて本当に心強く、改めて大人が手本を示さないといけないと感じました。

また、環境に対する危機感が大きいことを感じました。今私達が行動しなければ地球の未来はないとの思いで、出来ることに積極的に取り組んでいきたいと思えます。環境美化部会の今年

の主な事業は、①生ごみの減量大作戦 ②家庭に眠る古布の10トン回収 ③泉川花いっぱい大作戦 ④大好き泉川の日(第二日曜日の8時) ⑤国道11号バイパス環境整備などです。いずれも、地域の皆さんの支援なしには成果が生まれません。一か月に一時間で上等です。ふると泉川のために、あなたの時間を使ってみて下さい。きっと汗と同時に、何とも言えないすがすがしい喜びが生まれるはずです。



環境学習見学会を終えて

眞鍋 英子

ここ数年来の環境に対する関心が高まっている中で、廃棄物処理先進地の見学会でしたので期待いっぱいに出発しました。

まず最初の見学施設は環境先進都市と自負されている善通寺市の「未来クルパーク」です。

驚いたことに、廃棄物処理工場に併設されているこの施設は外観がまるで公園に建つ博物館。誰もがリサイクルの勉強ができるよう、市民参加型の開放された施設を目指したとのこと。納得。ここでは、粗大ゴミから分別されたままに使える大型家具類がとて安価な値札をつけて買い手を待っていたのが印象的でした。新居浜市でも、市民が気軽に処理現場の見学ができたらしいのと思いました。

次に訪れたのは「田代商店」。衣類のリサイクルに取り組む企業です。回収されて原料倉庫に山積みされた10トンあまりの古着たち。これが一日の処理量だとか。コンベアベルトや裁断機を使ってほとんど人の手で手際よく分別され、最終的に160種類の商品となって、国内向け古着 海外向け古着 反毛原料 ウェスとして活用され、最後にボイラー用燃料として焼却するのはたった10%とのこと。「捨てればごみ分ければ資源」を実感しました。

昨年訪れた徳島県上勝町の36種分別にも驚きましたが、私たちの泉川校区には、大好き泉川運動、資源ゴミ集団回収、生ごみ自家処理などの環境活動があります。再来年に新居浜で開催される全国大会の「環境自治体会議」を目的にして、これらの活動をもっと充実させていければと思います。

先進地研修で、善通寺市 未来クルパーク21と観音寺市の(有)田代商店に行ってきました。泉川連合自治会では、昨年、光明寺で生ごみの減量、今年から、資源ごみ(古布)のリサイクルに取り組んでいますから、善通寺市が進める生ごみ・資源ごみのリサイクル事業については大変興味深く参加しました。

善通寺市の人口は約35,000人です。昭和52年頃当時の市長が、ごみ投棄、埋め立てをしているのを見て、瓶・缶を集め売れるものは売却したらどうか、また、その収益金を住民に還元したら、ごみも減るし資源も有効に活用できると考え、モデル地区を作り、ごみ減量化に取り組んだそうです。

善通寺市では、これから先も未来もリサイクルを続けて行くと言う想いを込めて、未来クルパーク21と言う、中間処理施設を平成13年に完成しました。

今では、資源ごみを23種類に分別しています。新聞、ダンボール、雑誌、空き缶、ペットボトル、古着等を相場で買い取られ、再利用され、その売上金(昨年度は3600万円)は8校区に還元金として返しています。

また、この施設には、リサイクル工房等もあります。施設内での分別作業には、シルバー人材センターから15〜16名勤務しています。未来クルパークの所長の説明、現場視察をして大いに納得感動しました。

昼食後は、観音寺市の(有)田代商店に行きましたが、古着の分別作業を見学しましたが、今まで見たことの無い作業工程で処理が進んでいました。不要になった古着のリサイクル作業、大別すると、国内古着(古着ショップに10%) 海外古着(普段着として30%) 反毛原料(フェルト25%) リサイクルウェス(2

ごみ減量・リサイクル活動

先進地研修に参加して

久保 徹

7月31日(金) 泉川まちづくり 環境・美化部会が主催する、ごみ減量・リサイクル活動

5%)その他(リサイクルの難しい物、固形燃料に10%)・・・細かく分類すると160種類に分別するそうです。

衣類のリサイクルを通じて、環境問題に取り組んでいる企業、大切な資源として、余す所無く有効利用されていました。

研修した後、何かに取り組まなければいけないと強く思うのですが、実践は大変難しいものです。今後は、皆と意見交換しながら、ごみ処理削減に協力していきたいと思えます。

「たばこは先進地研修を日ごと」

新居浜校区女性の会 斉藤 ミヤ

去る7月泉川まちづくり協議会 環境・美化部会主催のごみ減量先進地研修会に同伴させて頂いた。

新居浜校区女性の会も、ごみ減量を目的に資源ごみ(古布)の集団回収を実施することにしたので非常に参考になり大変有意義な体験でした。

リフレットにより、予め作業の内容や分別の仕方など理解した積もりだったが、いざ現場の状況を実際に見て「うあーすごい!!」と思わず息を呑んだ。大きな倉庫に山のように積み上げられた衣類を見て、想像以上のスケールの大きさに圧倒され、この膨大な量の衣類を一体どこからどう集めてきたのうだろうと唯驚くばかり。

一次選別でベルトコンベアに乗せられ色や素材で選別し、二次検品を行い、最終的には360種類の商品となる細かな作業である工場内は、流れ作業により各々機械が設置されているが、人手による作業が多かった。

この一連の流れを見学して、帰りのバスの中で私の頭の中をめぐらした思いは、地球温暖化環境破壊の問題が世界中の深刻な課題となっている今、地球上に住む人類の一人ひとりが関心を持ち努力しなければ、豪雨、土砂災害、竜巻等の異常気象や災害に見舞われ、尊い命を失うことが増え続けるのではないだろうかという不安に襲われた。

環境を破壊しているのも人間自身である。この目的を達成するため大それたことはできなくとも、先ず自分の身の回りから出来る事の第一歩を踏み出すことが大切ではないかと、つくづく痛感させられた。

小さな活動の積み重ねが、大きな輪となり、広がっていくのだろう。



家庭ごみモデル地区計画案

環境・美化部会員 松田 初

現在、世界では地球温暖化や大気・水質の汚

染、不法投棄問題と環境破壊が問題視されています。新居浜市においても行政を中心に、ゴミの減量化、資源リサイクルの推進等、環境問題に取り組みをされていますが、ゴミの排出量はさほど変化が見られません。これは環境問題が一部の有識者たちに取り沙汰され考えられていますが、市民全体の啓発意識までには至っていないからだと思います。しかし最近では、スーパーのレジ袋の有料化や一部の地域ではコンポスト等を使用した生ごみの堆肥化などで環境問題について感心がひろがりつつあります。こうした中、新居浜市内におけるゴミの分別収集方法が今年の10月に改正施行され、各家庭のゴミの分別方法が変更されます。このような機会に行政としても、もっと環境問題について市民に強くPRするべきで、その手段の一つとして『一般家庭の生ごみモデル地区事業』を実施したらどうかと提案致します。

最新の新居浜市のリサイクル率に関しては全国平均まで向上していますが、市民一人一日当たりのゴミ排出量は未だに全国平均、愛媛平均を大きく上回っていますし、行政が補助金を出して市民に推進している生ごみ処理機を利用しても、一般家庭ごみの量は減量に至っていません。この現状の中で同事業は、一般可燃ごみの35%を占める家庭生ごみの減量と再資源化を目的としており、これを通して各家庭のゴミ排出量の減量化推進をするものです。

方法と内容について簡単に説明致しますと、行政と地域自治会との連携が必要で、同事業のモデル地区を選定し、地区内において『生ごみ推進委員会』等を発足させ、生ごみの保管方法や収集方法、また生ごみ減量の必要性を詳しく説明し、各家庭の理解を求めていきます。

対象地区の皆さんは家庭生ごみを水切り分

別して専用容器等に保管し、週2回ほど指定した場所に出してもらるか、自宅の庭地にコンポストなどを設置していただきます。回収場所には大型生ごみ処理機などのバリエーションを考えて設置し、それを使用して土や堆肥を作り、公共機関や教育機関、希望する家庭等に無料配布し利用してもらおうものであります。また従来の可燃ごみの量と同事業期間中の可燃ごみの量を計測し、減量分を始め生産した土や堆肥それを運用した行事を、市政だよりや公民館だより等で市民の皆さんにPRします。そうすることで、地域を始め住民間でのゴミの減量化や資源リサイクルなどについて啓発意識を促すことができるのではないかと思いますし、このような事業を各地域に広めることで市民全体までも浸透していくのではないかと考えます。また同事業を行うことで、より一層の地域住民の結束力を高め、地域の活性化にもつながるのではないかと思います。



大好き泉川の日

毎月第2日曜日
午前8時～
泉川公民館集合
ゴミ拾い・草抜き

古布回収

毎月第2日曜日
8時から10時